

## 令和2年度 事業報告

### 1 総括

当財団では、県民の総合的な健康づくりを推進するため、果たすべき役割をしっかりと認識し、各種健診・検査事業、普及啓発事業、県からの受託事業等を実施するとともに、着実な事業運営に努めてきた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が社会・経済活動に多大な影響を与えたが、当財団においても一部事業の休止を余儀なくされるなど事業運営に大きな影響を受けた一年であった。

業務の概況であるが、健診・検査事業では、令和2年3月から始まった小・中・高等学校等の休校措置が4月以降も継続となったことから、学校検診の日程がいったん全て取り消しとなった。4月16日に緊急事態宣言が本県にも適用されて以降、巡回健診の日程もほぼ全て取り消しとなったため、4月20日から巡回健診事業、診療所事業を一時休止した。5月14日に緊急事態宣言の本県への適用が解除されて以降、健診日程の再設定を開始し、健診時の感染防止策など健診実施体制を整え5月20日から事業を再開したが、巡回健診事業等の減少状況は続いた。巡回健診、学校検診の日程の再設定が進み、事業が順調に動き始めたのは7月になってからであった。

このため、年度当初予定していた健診日程のうち約9割を確保することができたが、新型コロナウイルス感染症への感染懸念などの影響から、受診者数は前年度に比べて大幅に減少した。

検査事業についても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で低調となった経済活動を反映し、検査の受託件数が前年度より減少した項目が多くかった。

普及啓発事業では、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020 ぐんま」のリレーアイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止し、代替イベントとして「ルミナリエ点灯イベント」等を実施した。がん征圧月間等の行事についても、街頭キャンペーン等は中止し、県庁昭和庁舎や臨江閣（前橋市）をそれぞれの活動のシンボルカラーで染めるライトアップを行った。群馬県地域保健研究発表会についても、オンライン開催とした。

このほか、令和元年度に策定した中期事業計画に基づき事業を推進するとともに、職員の資質向上、国の働き方改革に対応した体制整備に努めた。

### 2 重点実施事項

#### (1) 体制整備

##### ① 経営基盤の強化

巡回健診事業、診療所事業の一時休止に当たっては、国等の支援措置を積極的に活用した。事業再開後は、感染防止策を徹底し、受診者動向を把握しながら適切な事業運営に努め、経営への影響を最小限に抑えるよう取り組んだ。

- ② 総合的なリスクマネジメント体系の整備  
財団が行う医療や各種健診・検査の現場における医療安全管理を組織的に管理し、安全や信頼性の向上に努めた。また、ヒヤリハット事例の報告・周知に徹底して取り組み、職員の情報共有を推進した。
- ③ 健康経営優良法人の認定  
職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に職員への健康投資を実践していくことにより、職員の活力向上や生産性の向上、組織の活性化を図り、業績向上につなげていく「健康経営優良法人」認定制度に取り組み、令和3年3月4日付けで「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定された。
- ④ 職員の資質向上  
全職員を対象とした財団内部の各種研修を実施した。また、外部団体主催の収集型研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が相次いだが、オンライン配信型の研修会等を活用し、引き続き職員の知識・技術の向上に努めた。
  - 内部研修 新規採用者研修、リーダー研修、感染症とがん検診研修、個人情報保護研修、セルフケア研修、医療安全研修等を開催
  - 外部研修 本部三団体 ((公財)結核予防会・(公財)日本対がん協会・(公財)予防医学事業中央会) その他団体が主催する各種専門分野 36 の研修会を職員（延べ 72 名）が受講
- ⑤ 個人情報の保護  
健診機関としての社会的責任を認識し、個人情報保護に努めるため、令和元年7月に更新したプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間2年間）の認定機関として、個人情報の取り扱い・管理の徹底を継続実施し、個人情報保護に万全を期した。

## （2）健診検査事業

新型コロナウイルス感染症の感染を防止するために、(公財)結核予防会ほか健診関係機関7団体が作成したガイドラインに基づき健診検査の実施体制を整え取り組んだ。しかし、健診日程の大幅な変更や感染懸念による受診控えなどの影響により、ほとんどの項目で受診者が前年度を下回る結果となった。

- ① 循環器健診  
1村から新規に受託したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で4市が集団健診を中止したことや受診控えなどにより、地域健診の受診者数は38.2%減少した。職域健診も、受託減及び感染拡大防止のための健診中止により、受診者数は17.0%減少した。  
なお、風しん抗体検査については、前年より43.7%の増加となった。

## ② がん検診

肺がん検診は2町村、大腸がん検診、前立腺がん検診は1村から新規受託したが、肺がん検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診全てで、受診者数が前年度を30%以上下回る結果となった。

乳がん検診のうち視触診検診(地域)は、5市町村が廃止したことから、受診者数は44.0%の大幅な減少となった。

また、乳房超音波検査も引き続き大泉町でモデル的に実施したが、受診者数は58.8%減少した。

## ③ 保健指導

初回分割型特定保健指導を4町村から新規に受託したが、循環器健診受診者数が減少したことに伴い低調となった。

なお、事業所職員を対象とした保健指導にICTを活用した「リモート保健指導」を導入した。

## ④ 学校保健検査

年度当初から休校措置が続き、ほとんどの学校で再開が6月となつたことから、検診日程が大幅な変更となったものの、予定していた検診はほぼ実施できた。心臓検診については、小学4年生の検診を2市及び私立学校1校から新規受託したことから、受診者数は6.0%増加した。

なお、採血や心臓検診を円滑に実施するため「わかりやすい受診ガイド動画」(小学生向け・中高生向け)を作成し、ホームページ上で公開した。

## ⑤ 診療所

業務の一時休止及び新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を目的とした3密回避のため、1日当たりの受け入れ人数を制限したことにより、施設内健診は29.8%減少した。

## ⑥ 新型コロナウイルスPCR検査

新型コロナウイルスに感染していないことを証明する「陰性証明書」の発行について要望が寄せられたことから、唾液による新型コロナウイルスのPCR検査を9月から開始した。ビジネス渡航用の検査9件、職場復帰・実習等用の検査81件の計90件を実施した。

## (3) 普及啓発事業

### ① リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020ぐんま

通常開催に代えて、代替イベントとして県庁県民ホール及び県立がんセンターで「ルミナリエ点灯イベント」を開催した。

また、過去にリレー・フォー・ライフに参加した団体が、がん患者やその家族を支援するために作成した動画をリレー形式で繋いだ「応援リレー動画」の公開などの広報活動やチャリティー活動を実施した。

なお、厳しい経済状況下においても、企業、関係団体及び個人から多くの協賛金や募金をいただき、その募金総額は3,962,454円(全国1位)となった。

② がん征圧啓発

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「乳がん検診受診促進母の日キャンペーン」や「がん患者ミーティング」が中止となつたことから、9月の「がん征圧月間」に合わせて、県庁昭和庁舎のライトアップを行つた。

また、10月に「ピンクリボンキャンペーン」の一環として、臨江閣（前橋市）のライトアップを行つた。

③ 地域保健研究発表会

令和3年3月、県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会（第8回）」（会場：群馬県庁）を座長と発表者のみで開催した。当日は9名の発表者が日頃の研究成果を発表し、その模様をZOOM配信し、多くの県内関係者がオンラインで聴講した。

④ あさを賞

令和2年12月、県民の健康増進または疾病予防等に役立つ8つの調査研究に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定した。

（4）群馬県からの受託事業等

- ① 「全国がん登録事業」、「臓器移植推進事業」及び「群馬県がんピアサポート一派遣事業」を引き続き受託し、実施した。
- ② 「新型コロナウイルス感染症軽症者等に係る健康観察業務」及び「帰国者・接触者相談センター電話対応業務（令和2年11月～「受診・相談センター電話対応業務」に改称）」を受託し、県内宿泊療養施設や県庁内コールセンターへ職員を派遣した。

### 3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
4月 17日	巡回健診事業、診療所事業の一時休止を決定 一時休止期間 4月20日～5月19日(巡回健診事業は～6月30日) ※この間、保安要員を除き、関係職員は休業とした。 ※緊急事態宣言の本県への適用が5月14日に解除となり、県が定めるガイドライン の警戒度が「3」へ移行したことから、5月20日より診療所事業を再開した。巡回健 診事業は、市町村、事業所と協議を進め、健診日程を再設定し、順次再開した。 職員の休業措置は、6月30日に完全解除した。
6月 10日	理事会(理事12名・監事3名出席)
6月 25日	評議員会(評議員10名出席)
8月 4日	群馬県健康福祉部長表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
9月 25日 ・10月 9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リレー・フォー・ライフ・ ジャパン2020ぐんまのリレーイベントを中止 県庁、県立がんセンターで代替イベントを開催
12月 15日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(8件の助成を決定)
3月 10日	理事会(理事11名・監事2名出席)
3月 22日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「群馬県地域保健研究発 表会」をオンラインで開催(9題の演題発表)
3月 23日	評議員会(評議員12名出席)

### 4 事業基盤の確立

#### (1) 贊助会員

区 分	会費(1口)	会員数(件)	金 額(円)
法 人 会 員	10,000	56	560,000
団 体 会 員	5,000	43	215,000
個 人 会 員	1,000	24	24,000
合 計		123	799,000

## 5 事業実績

### (1) 普及啓発事業

項目		活動内容
週間月間行事	がん征圧月間(9月)	年間を通じ、群馬県がん患者団体連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。 がん征圧月間では、県庁昭和庁舎や臨江閣のライトアップを実施したほか、新聞広告掲載や関係機関へポスター配布(1,500部)等を行った。
	結核予防週間(9月24日～30日)	新聞広告掲載や関係機関へポスター配布等を行った。(ポスター 650部、パンフレット 1,650部)
	臓器移植普及推進月間(10月)	県庁昭和庁舎や臨江閣でグリーンライトアップキャンペーンを実施した。各市町村の成人式でリーフレットを配布して意思表示の促進を図った。(群馬県からの受託事業)
行事開催	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま 2020ぐんま	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局として、令和2年10月10～11日にALSOKぐんま総合スポーツセンターで第8回大会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来のリレーイベントを中止し、代替イベント等を開催した。 ○ルミナリエ点灯イベント 令和2年9月25日 県庁県民ホール、県民広場 令和2年10月9日 県立がんセンター1階ホール、通路 ○応援リレー動画作成 中止したリレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの精神を絶やすことなく、令和3年度につないでいく決意の象徴として、30団体から寄せられたがん患者やその家族を応援する動画をリレー形式に編集した動画をYouTubeで公開した。 ○チャリティー活動の実施 募金総額 3,962,454円(全国1位)
	群馬県地域保健研究発表会	県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する群馬県地域保健研究発表会を令和3年3月22日に開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ZOOMによるオンライン開催とし、9つの演題が発表された。
	ぐんまウェブマラソン2020	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「第30回ぐんまマラソン」の代替イベントとして開催された「ぐんまウェブマラソン2020」に協賛し、参加者の健康意識の啓発を行った。
複十字シール運動		結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会を作るため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施した。(結核予防会主催の全国運動)(募金額 2,873,450円)
健康教育資料提供	機関誌発行	機関誌「健やかぐんま(No.28～No.31)」を発行した。 (8ページ構成、8,500部、年4回)
	機関誌等の配布	各種関連団体が発行する機関誌(予防医学ジャーナル(378部)・複十字(1,710部)・対がん協会報(2,990部)・健康の輪(330部))を関係機関に配布し、健康関連情報を提供した。
	教育資材の貸出	市町村等関係団体に対し、血管年齢測定器(4団体)、血管年齢・ストレス測定器(1団体)を貸し出した。

(2) 健診検査事業

① 胸部検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
胸部(結核)検診	地域	1,028	993	103.5
	職域	28,884	38,336	75.3
	学校	24,695	25,535	96.7
	合計	54,607	64,864	84.2
肺がん検診	地域	75,761	101,543	74.6
	読影受託のみ	2,969	11,311	26.2
	職域	1,406	2,020	69.6
	合計	80,136	114,874	69.8
アスベスト検診		593	609	97.4
じん肺検診		185	415	44.6

② 循環器健診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
循環器健診	地域	24,486	39,618	61.8
	職域	35,084	42,258	83.0
	合計	59,570	81,876	72.8
A B C 検査	地域	1,160	2,029	57.2
【特定健診件数内数】 特定健診 詳細項目	心電図検査	8,985	12,251	73.3
	眼底検査	6,321	8,186	77.2
風しん抗体検査	地域・職域	1,174	817	143.7

③ 胃がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
胃がん検診	地域	14,768	23,472	62.9
	職域	5,219	6,350	82.2
	合計	19,987	29,822	67.0

④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
子宮頸がん検診	地域	17,789	27,297	65.2
	職域	903	1,298	69.6
	合計	18,692	28,595	65.4

⑤ 乳がん検診・(甲状腺)検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
視触診検診	地域	4,670	8,337	56.0
	職域	394	648	60.8
	合計	5,064	8,985	56.4
マンモグラフィ検査	地域	15,790	24,671	64.0
	職域	887	1,494	59.4
	合計	16,677	26,165	63.7
乳房超音波検査		631	1,532	41.2
合計		22,372	36,682	61.0

⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
大腸がん検診	地域	18,015	27,975	64.4
	職域	2,600	4,293	60.6
	合計	20,615	32,268	63.9

⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
前立腺がん検診	地域	9,927	16,025	61.9
	職域	128	551	23.2
	合計	10,055	16,576	60.7

⑧ その他健診

・保健指導(初回面接分割型を除く)

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
特定保健指導	積極的支援	146	195	74.9
	動機付け支援	204	295	69.2
一般保健指導		386	435	88.7
合計		736	925	79.6

・初回面接分割型保健指導

(単位:人)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
特定保健指導 初回実施数	406	538	75.5
階層化後	積極的支援	90	108
	動機付け支援	245	329
	情報提供	49	58
	医療優先	22	43

・健康サポート事業

(単位:件)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
健康サポート事業	1	5	20.0

・骨密度検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
骨密度検診	地域	1,884	2,989	63.0
	職域	57	318	17.9
	合計	1,941	3,307	58.7

・歯周疾患検診

(単位:人)

区分	対象	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
歯周疾患検診	地域	0	48	0.0
歯科検診	職域	763	737	103.5
唾液検査	地域	168	223	75.3
	職域	624	186	335.5
合計		1,555	1,194	130.2

## ・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
心身の健康づくり事業	個別カウンセリング	2	4
	ストレスチェック	14,044	14,136
	合 計	14,046	14,140

## ⑨ 腸内細菌等検査

(単位:件)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
腸 内 細 菌 等 檢 查	73,031	78,704	92.8

## ⑩ 病理検査事業

(単位:件)

区分	内 容	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
病 理 檢 查	細胞診検査	36,718	42,323	86.8
	組織診検査	6,427	8,221	78.2
	喀痰細胞診検査	2,190	4,265	51.3
	合 計	45,335	54,809	82.7

## ⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区分	内 容	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
学校保健検査	寄生虫検査	290	735	39.5
	尿 検 査	131,989	135,172	97.6
	血液検査	1,774	1,662	106.7
	貧 血 検 査	22,910	26,659	85.9
	心 臓 検 診	64,366	60,703	106.0
	小児生活習慣病健診	3,855	3,667	105.1
	合 計	225,184	228,598	98.5

## ⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
先 天 性 代 謾 異 常 檢 查	14,253	14,961	95.3

## ⑬ 食品検査

(単位:件)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
食 品 檢 查	14,434	17,269	83.6

## ⑭ 水質検査

(単位:件)

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
水 質 檢 查	19,226	18,464	104.1

## ⑮ 診療所健診

(単位:人)

区分	内 容	令和2年度実績	令和元年度実績	前年比(%)
精 密 檢 查	胃 が ん	54	68	79.4
	大 腸 が ん	25	50	50.0
	乳がん・(甲状腺)	298	365	81.6
	そ の 他	540	740	73.0
施設内健診	合 計	917	1,223	75.0
	日帰り人間ドック	1,573	1,722	91.3
	その他健康診断	10,511	15,481	67.9
	合 計	12,084	17,203	70.2

・がん登録状況(暦年)

(単位:件)

区分	登録の状況 罹患数	届出の状況	
		届出票の届出数	病医院及び診療所数
平成6年	6,303	2,648	92
平成10年	6,513	5,101	79
平成15年	6,078	3,406	61
平成20年	12,111	7,738	74
平成25年	14,407	19,213	99
平成26年	14,727	19,797	97
平成27年	15,092	20,982	93
平成28年	16,255	13,471	80
平成29年	16,482	26,559	95
平成30年		23,138	110
令和元年		23,221	109
令和2年		24,725	101
累計(平成6年～令和2年)	225,186	317,752	2,187

注:「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国(国立がんセンター)により集計されています。

注:平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～平成14年、平成16年～平成19年、平成21年～24年は記載省略。

・がんピアサポーター派遣状況

年度	派遣先(医療機関)数	延べ派遣人数(人)
平成25年(※)	3医療機関	90
平成26年	6医療機関	224
平成27年	8医療機関	261
平成28年	9医療機関	283
平成29年	10医療機関	314
平成30年	11医療機関	333
令和元年	11医療機関	322
令和2年	-	0
累 計	58医療機関	1,827

注:平成25年から実施。

※受託期間は半年

※新型コロナウイルス感染症の影響で派遣なし